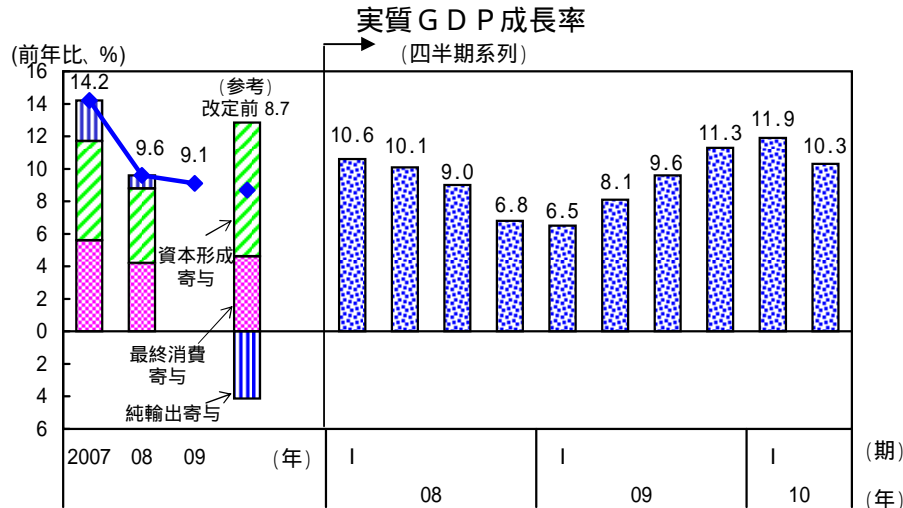
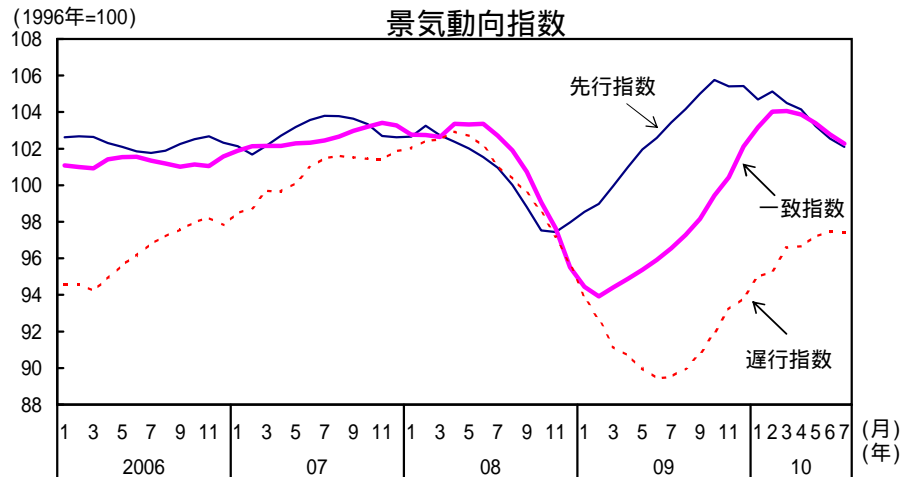


2. アジア地域

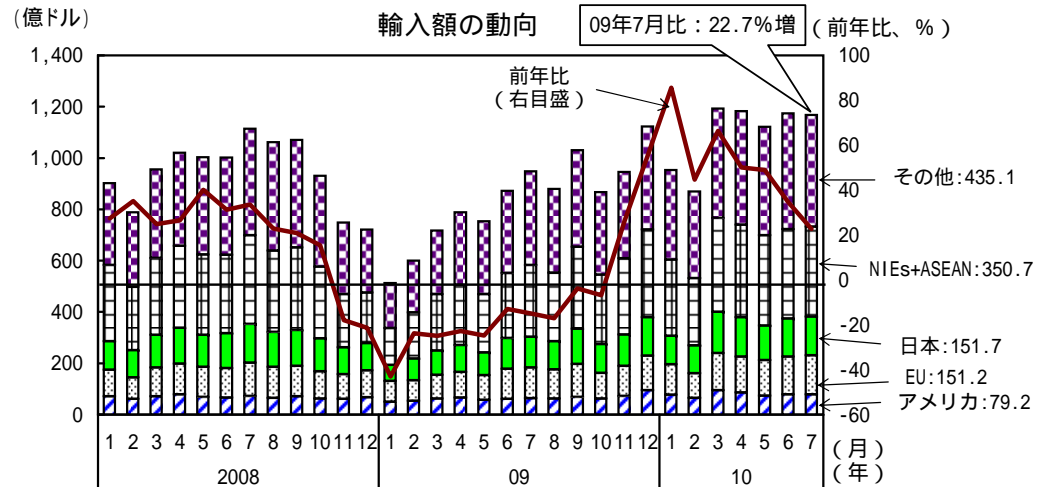
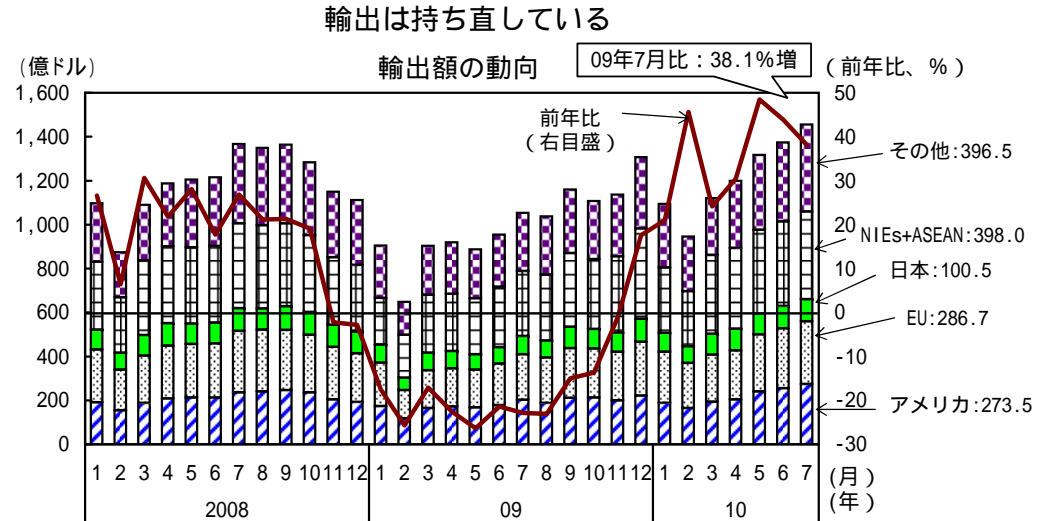
中国： 中国では、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に拡大しているが、このところ拡大テンポがやや緩やかになっている。先行きについては、テンポは緩やかになるものの拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、不動産価格や欧米向け輸出の動向に留意する必要がある。



- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 中国人民銀行の試算によると、中国の前期比年率のGDP成長率は、08年10-12月期4.3%、09年1-3月期9.5%、4-6月期11.4%、7-9月期11.0%、10-12月期11.3%、10年1-3月期12.2%、4-6月期は未公表。
 3. 10年7月2日、09年のGDPの改定値が公表されたが、現時点では、需要項目別内訳は公表されていない。



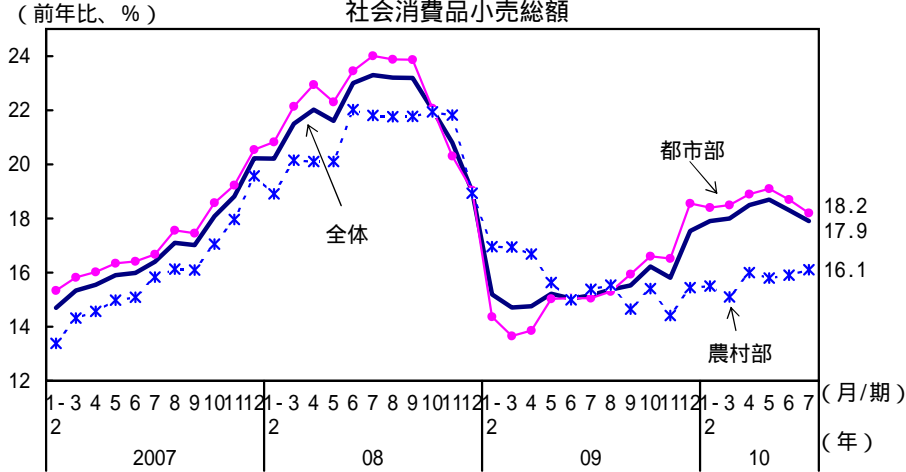
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。



- (備考) 1. 中国海関総署より作成。
 2. グラフは原数値。

消費は堅調に増加している

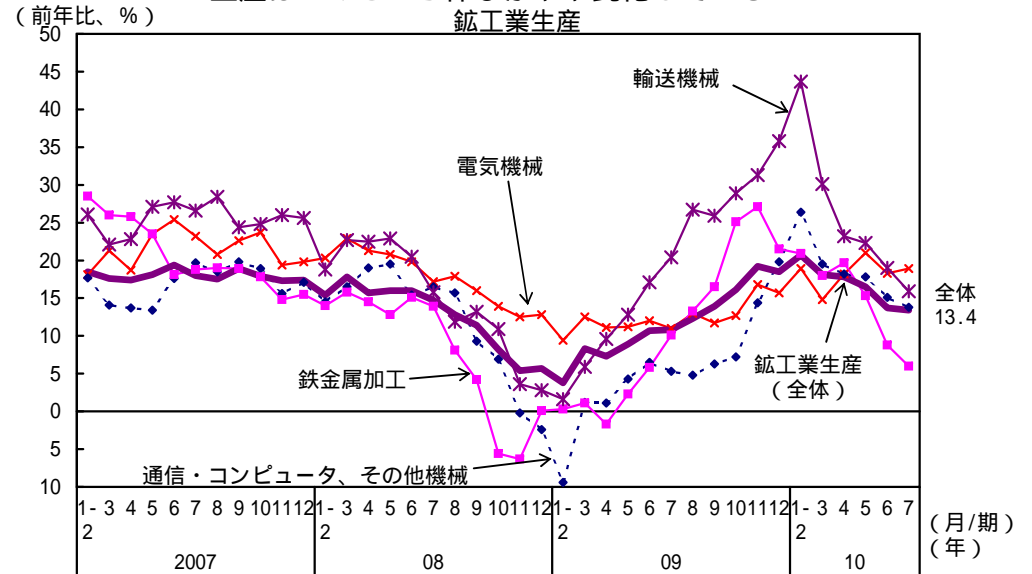
社会消費品小売総額



- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 09年のシェアは、都市部68%、農村部32%。
 3. 中国では、消費刺激策として、排気量1.6l以下の乗用車の車両取得税の減税(09年1月~10%、5%、なお10年1月からは7.5%)、農村における家電の普及政策(「家電下郷」)の全国展開(09年2月~)、農村における自動車の普及政策(「汽車下郷」)(09年3月~)を実施している。さらに、09年6月から、自動車や家電の買換え促進策を実施している(「以旧換新」)。

生産はこのところ伸びがやや鈍化している

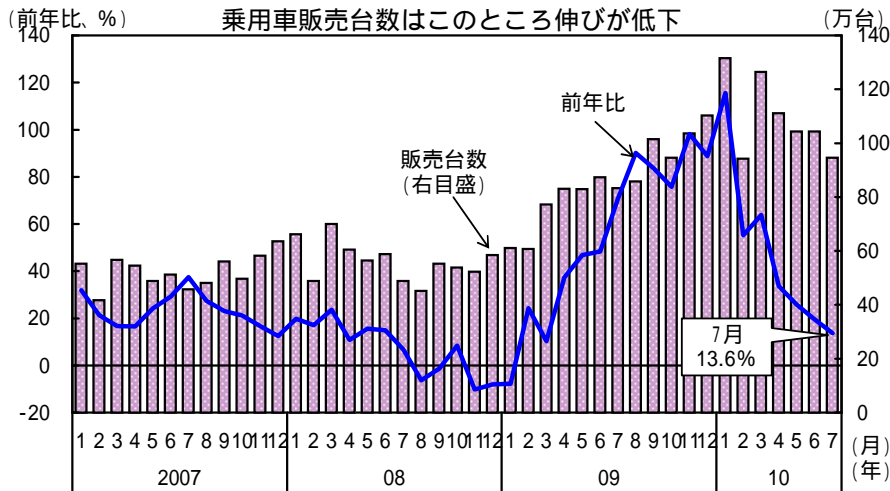
鉱工業生産



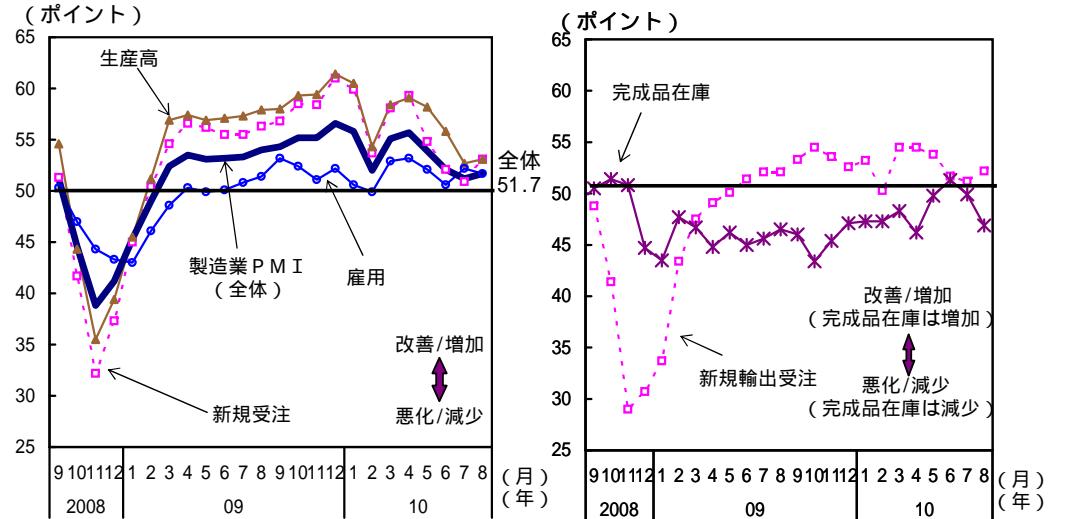
(備考) 中国国家統計局より作成。

製造業購買担当者指数(PMI)はやや低下している

乗用車販売台数はこのところ伸びが低下

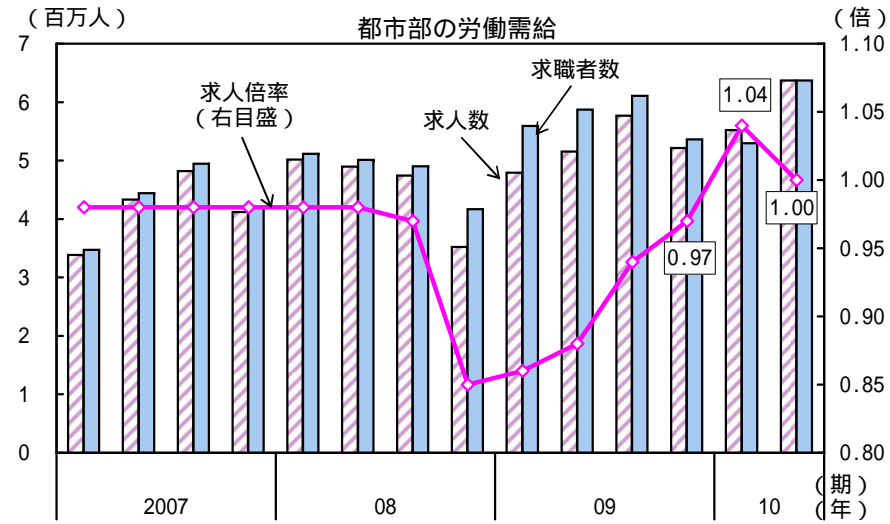


- (備考) 1. 中国汽車工業協会より作成。
 2. 春節(旧正月)は、08年2月6~12日、09年1月25~31日、10年2月13~19日。
 3. 2009年の販売台数は約1,033万台。



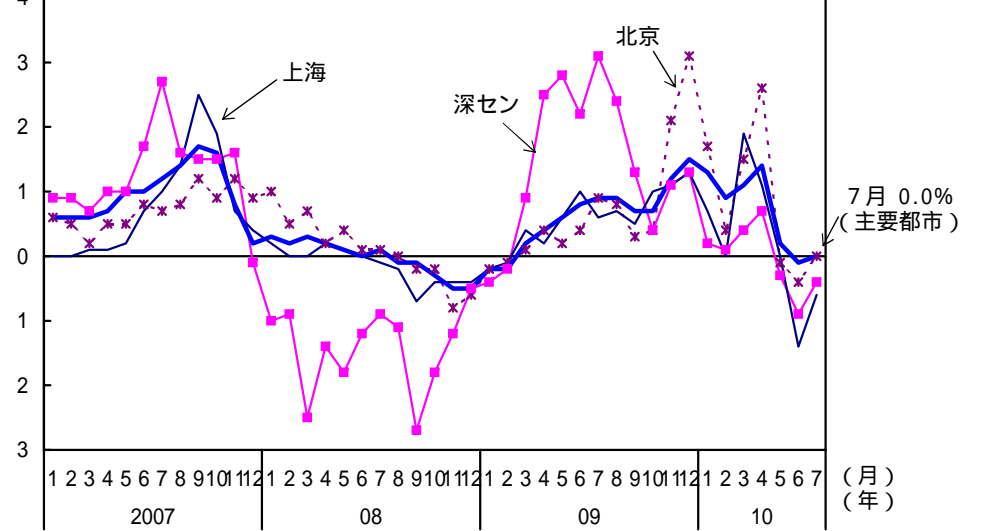
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 製造業PMIは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業PMI(全体)は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

労働需給はひっ迫傾向



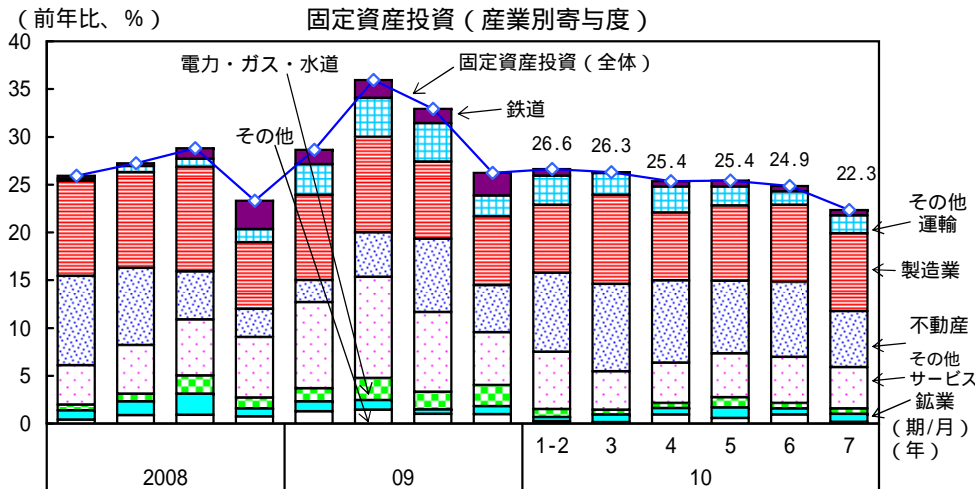
(備考) 中国人口資源社会保障部より作成。

主要都市建物販売価格 (前月比)



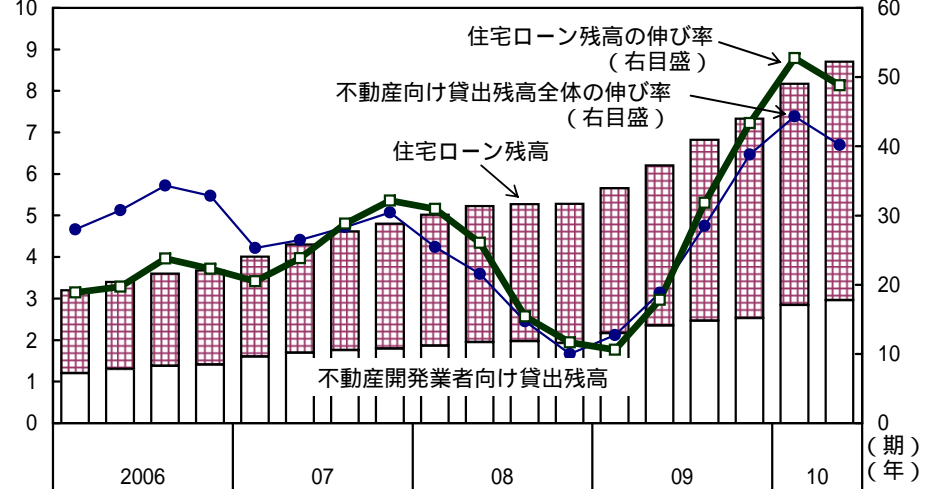
(備考) 中国国家统计局より作成。

固定資産投資は高い伸びが続いている



- (備考) 1. 中国国家统计局「都市部固定資産投資」より作成。
 2. 県以上のレベルの政府機関、企業等によって実施される投資プロジェクトで、中国全体における固定資産投資の86% (09年) を占める。
 3. 不動産開発投資については、09年11月に土地購入費に関する統計の変更が行われた。

不動産向け貸出残高



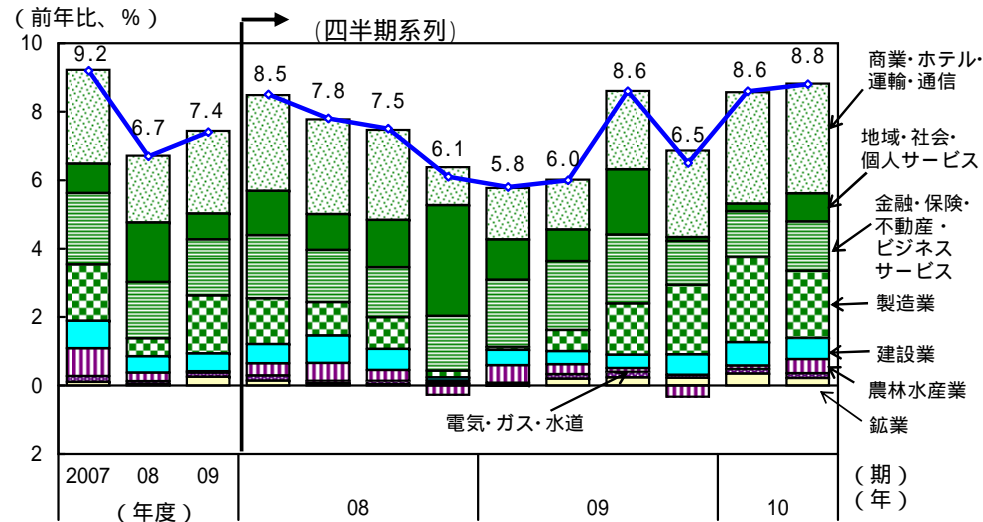
(備考) 中国人民銀行より作成。

インド：

インドでは、景気は内需を中心に拡大している。
先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。

ただし、物価上昇によるリスクには留意する必要がある。

実質 GDP 成長率



生産は伸びが鈍化している



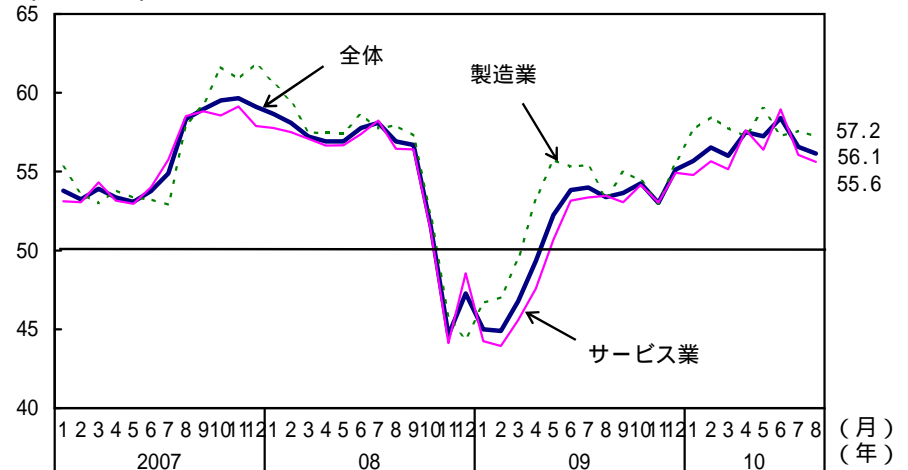
（備考）1. インド中央統計局より作成。
2. 年度は財政年度（4月～翌年3月）による。

主要機関等による見通し

	(前年比、%)	
	2010年度	2011年度
インド準備銀行(7月)	8.5	-
インド政府経済諮問委員会(7月)	8.5	9.0
民間エコノミスト平均(6月)	8.4	8.5
IMF(7月)	9.4	8.4
OECD(5月)	8.3	8.5
ADB(4月)	8.2	8.7

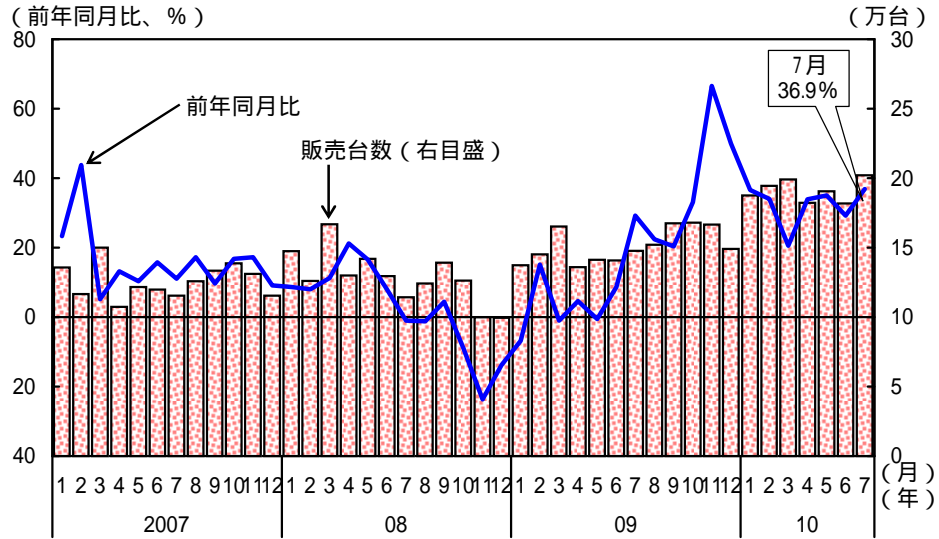
（備考）1. インド準備銀行（10年7月26日、27日）、インド政府経済諮問委員会（10年7月22日）、IMF “World Economic Outlook Update”（10年7月7日）、OECD “Economic Outlook 87”（10年5月26日）、ADB “Asian Development Outlook 2010”（10年4月13日）より作成。
2. IMFの見通しは、暦年。

（ポイント） 購買担当者指数（PMI）は堅調に推移



（備考）1. マークイット社より作成。
2. 50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。
3. 全体指数は、製造業指数、サービス業指数それぞれをGDPシェアで加重平均して合成したもの。

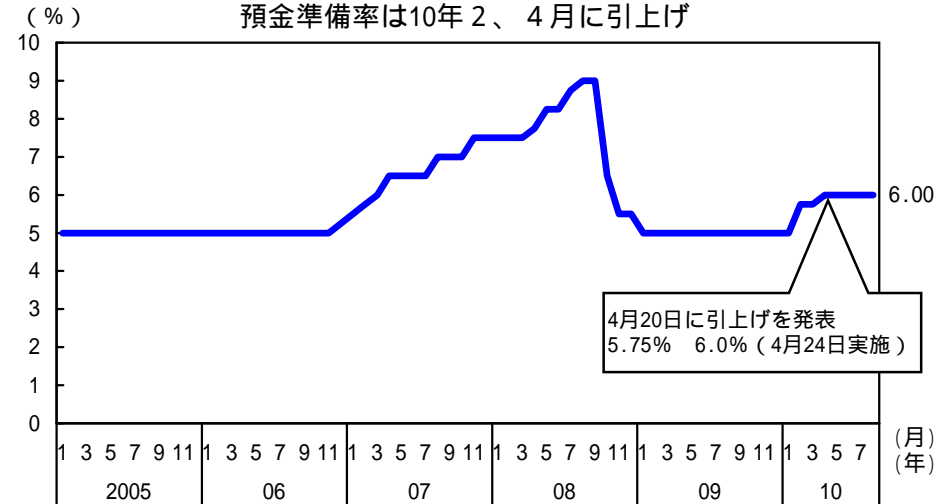
国内乗用車販売は増加



(備考) 1. インド自動車工業会 (S I A M) より作成。
2. 2009年度販売台数は約195万台。

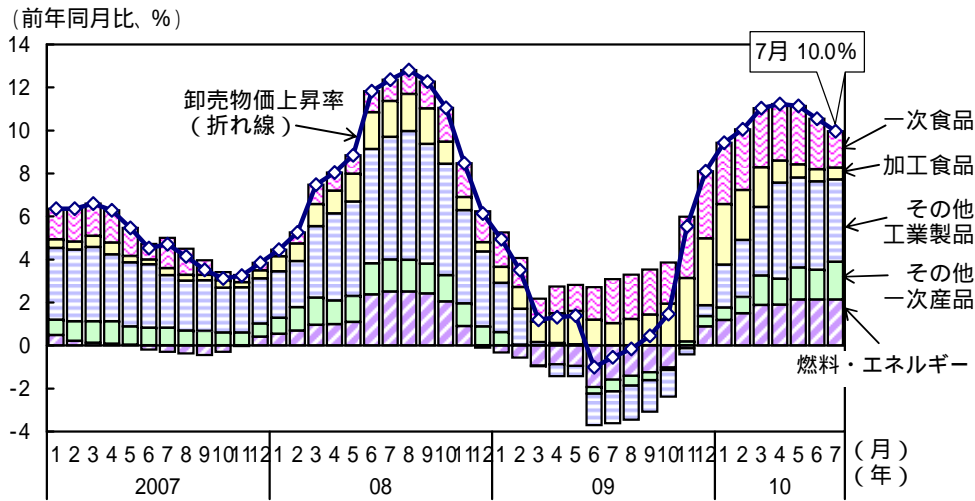
金融政策の動向

預金準備率は10年 2、4月に引上げ



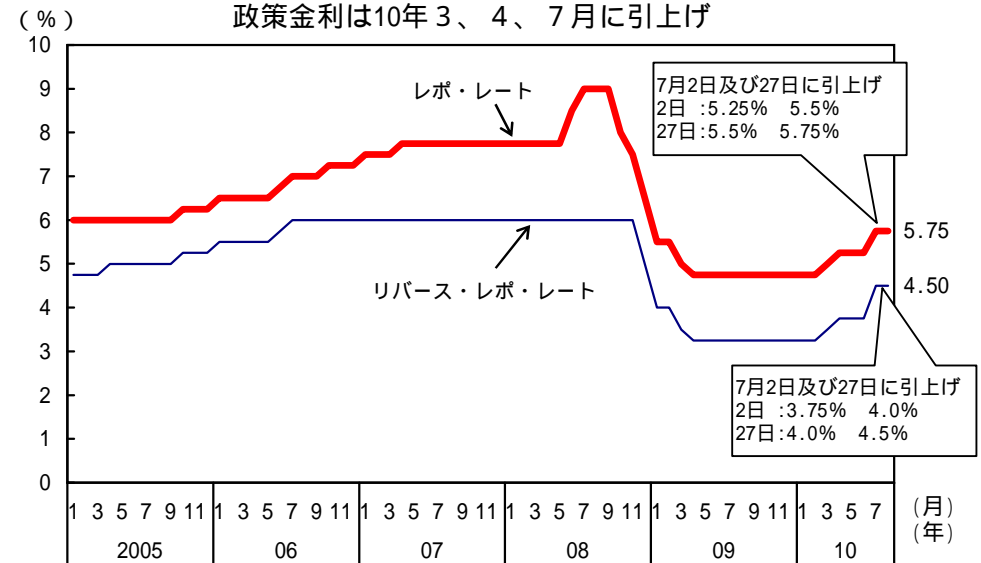
(備考) 1. インド準備銀行(中央銀行)より作成。
2. 09年10月27日、インド準備銀行(RBI)は、国内商業銀行が保有しなければならない国債やその他政府指定債券の預金総額に対する比率である「法定流動性比率 (S L R : Statutory Liquidity Ratio)」を1%引き上げて25%とすると発表した(11月7日から実施)。

卸売物価上昇率は高水準で推移している



(備考) 1. インド商工省より作成。
2. 卸売物価上昇率はインド政府・金融当局が最も重視する物価指標。

政策金利は10年 3、4、7月に引上げ



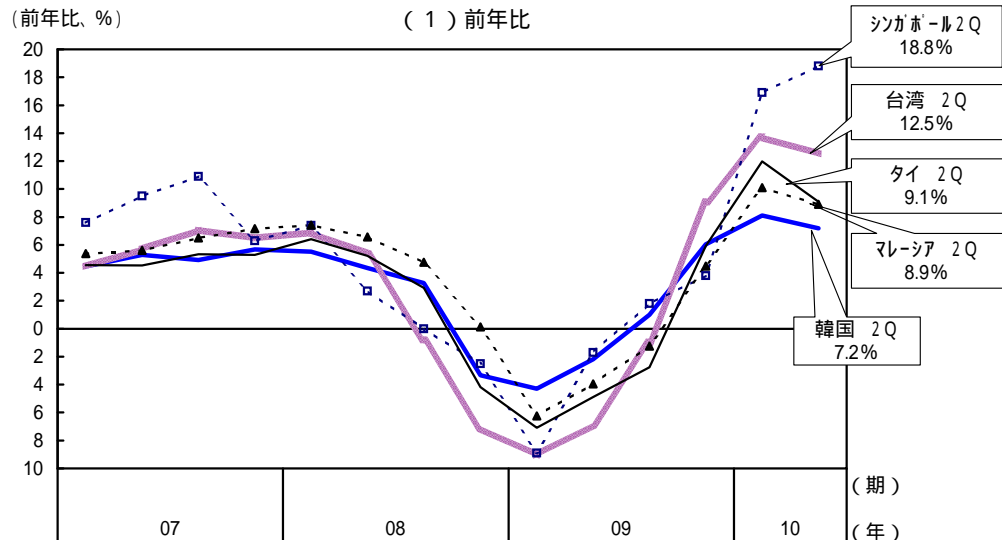
(備考) インド準備銀行(中央銀行)より作成。

その他アジア地域：

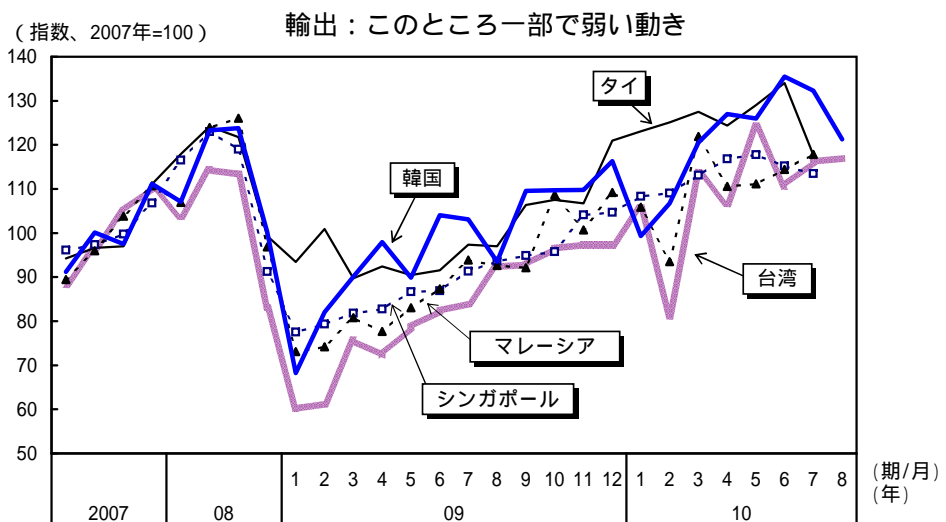
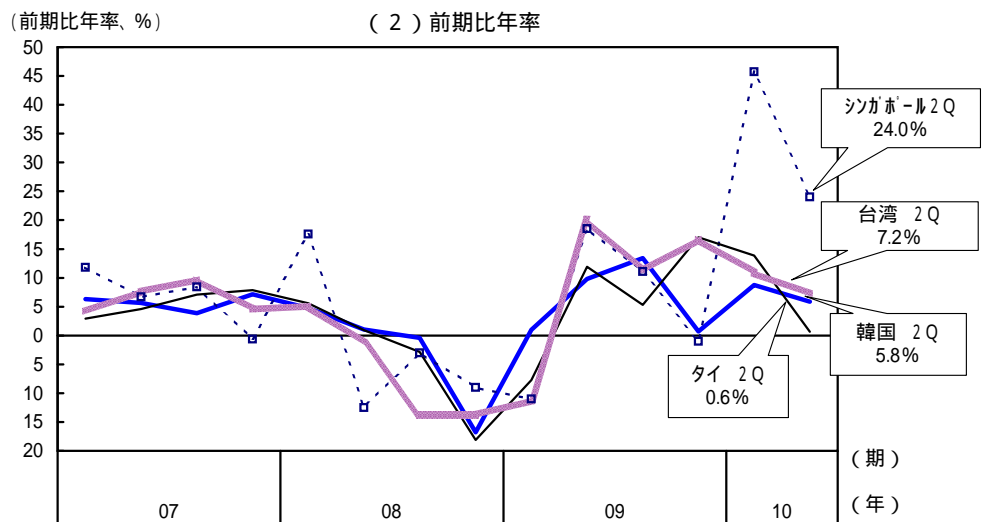
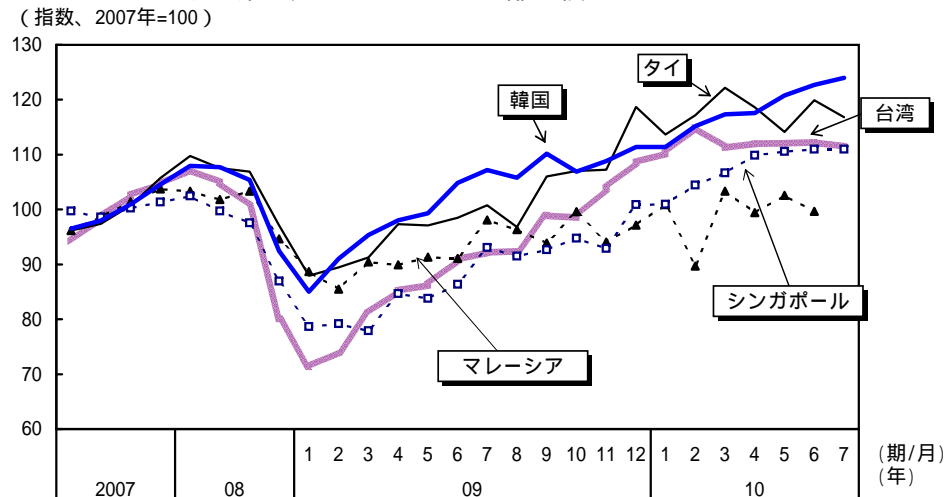
その他アジア地域では、総じて景気は回復しているが、一部でこのところ回復テンポがやや緩やかになっている。

先行きについては、テンポは緩やかになるものの回復傾向が続くと見込まれる。ただし、欧米等の景気が下振れした場合には、輸出の減少等により、景気回復が停滞するリスクがある。

実質GDP成長率



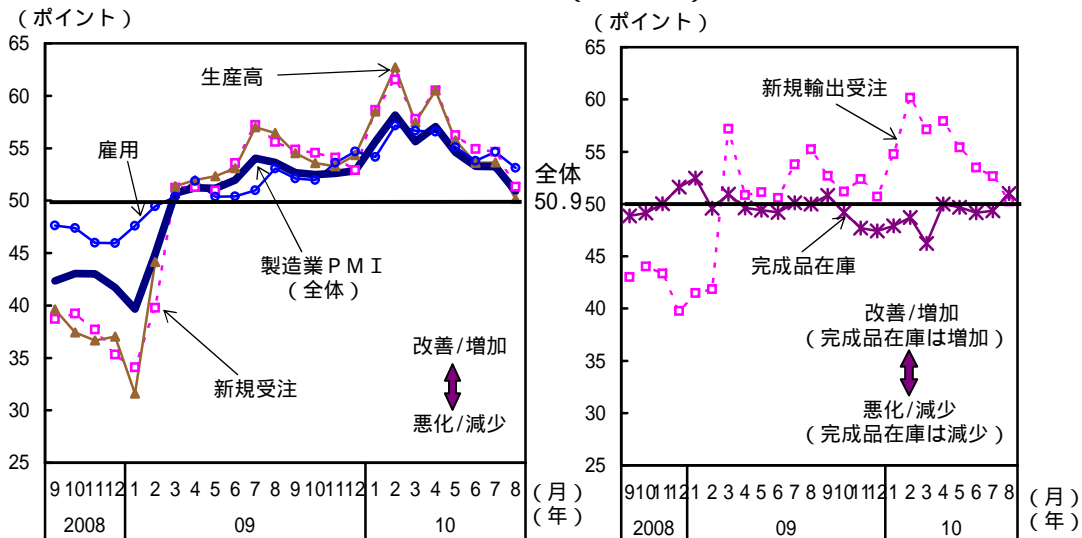
鉱工業生産：このところ一部で横ばいとなっている



(備考) 各国・地域統計より作成。

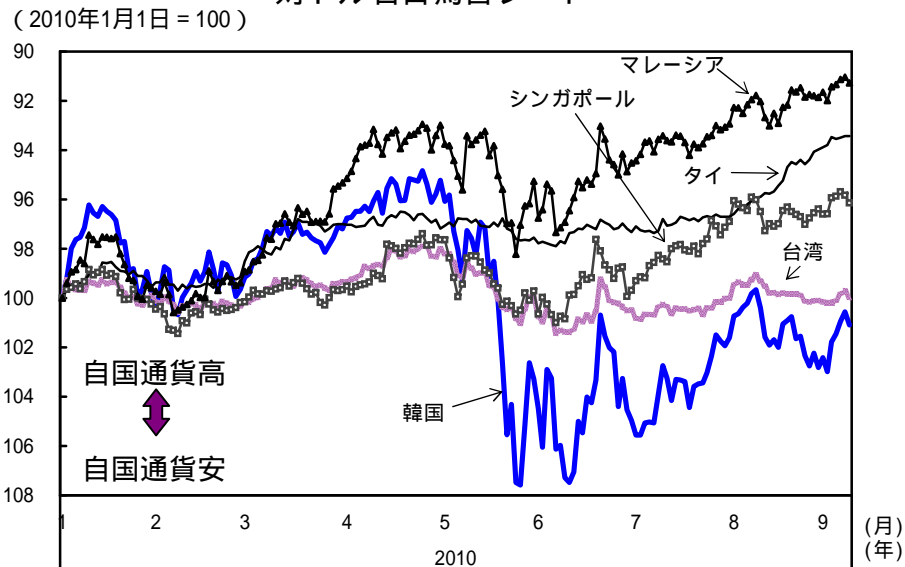
(備考) 1. 各国・地域統計より作成。
2. 米ドルベース。シンガポール、タイは季節調整値。その他は季節調整前の数値。

韓国の製造業購買担当者指数 (PMI) : 低下している



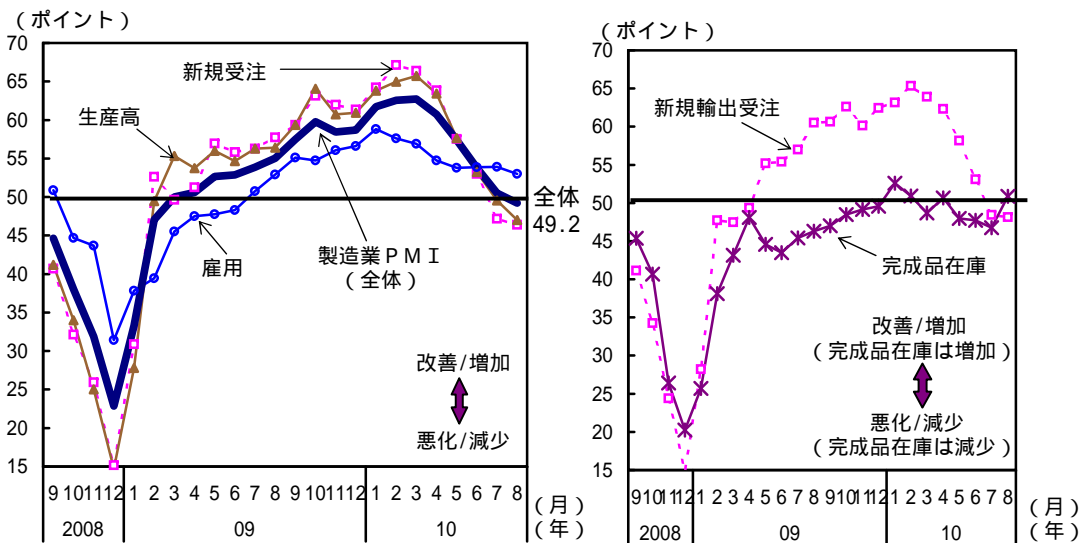
(備考) 1. マークイット社より作成。
2. 50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

対ドル名目為替レート



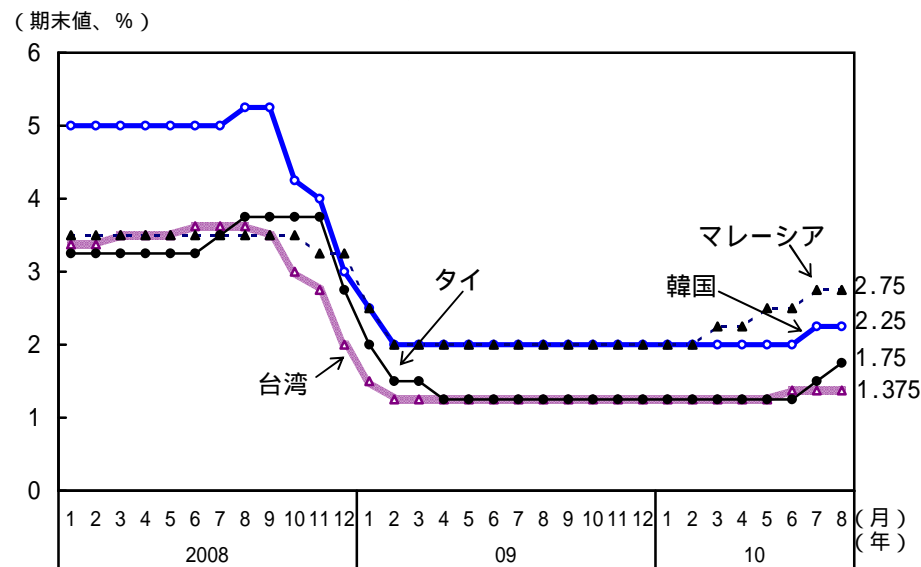
(備考) ブルームバーグより作成。

台湾の製造業購買担当者指数 (PMI) : 低下している



(備考) 1. マークイット社より作成。
2. 50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

金融政策の動向



(備考) 1. 各国統計より作成。
2. 韓国は7日物レボ金利、台湾は中央銀行再割引率、タイは翌日物レボ金利、マレーシアは翌日物金利。